

日本外交文書

昭和期Ⅱ第一部第三卷
（昭和九年对中国關係）

外務省

序

外務省では、明治維新以降のわが国外交の経緯を明らかにし、あわせて外交交渉上の先例ともなる基本的史料を提供する目的で、昭和十一年『日本外交文書』第一巻を公刊した。その後、戦争による中断はあったが、戦後、編纂事業を再開して、昭和三十八年には明治期を、同六十二年には大正期をそれぞれ完結した。昭和期外交文書については、満州事変、海軍軍縮問題、および日米交渉（昭和十六年）等の特集とともに、すでに昭和期Ⅰの外務省記録の編纂・刊行を終え、本巻で明治期以来通算一八六冊となった。

昭和期は戦災等により重要記録が多数失なわれているため、その編纂においては従来の編年方式に加え、多年度方式を導入するなどの新形式により、複雑多岐にわたる昭和期外交の実態を把握できるよう配慮して来た。本巻は昭和期Ⅱの第六冊目として、昭和九年の対中国関係外務省記録を編年方式により編纂・刊行するものである。

激動の時代といわれる昭和期日本の対外政策とこれをめぐる国際環境について本巻が正確な史実を提供し、将来のわが国外交政策の策定と歴史的研究にあたって、何らかの寄与を成し得れば幸いである。

平成十二年十二月

外務省外交史料館長

例言

一 第二次世界大戦終結に至るまでの昭和期（昭和二―二十年）を次の三期に分けて外交文書の編纂を行う。

昭和期Ⅰ 昭和二―六年（一九二七―一九三一）

昭和期Ⅱ 昭和六―十二年（一九三一―一九三七）

昭和期Ⅲ 昭和十二―二十年（一九三七―一九四五）

二 各期においては、対中国関係事項を第一部、対欧米・国際関係事項を第二部とし、それぞれ編纂・刊行する。

三 本巻は『日本外交文書』昭和期Ⅱ第一部第三巻として、昭和九年の対中国関係文書を収録した。

1 本巻に収録した文書は、基本的に外務省所蔵記録によるものである。

なお、収録文書の冒頭に※印のあるものは、外務省所蔵「松本記録」に依拠した。

2 本巻ではこれら外務省所蔵記録に加え、東京大学社会科学研究所所蔵「島田文書」中の「排日抗日関係」、「対支雑俎 其ノ一 天羽声明」および「支那税関ノ密輸取締状況」より文書を補填し、冒頭に◎印を付した。

3 収録文書は、原則として原文のままである。

4 収録文書は、編者が一連文書番号および件名を付し、各項目ごとに日付順に配列した。

5 収録文書中発電月日不明の電報は、着電の日付を記し、1月15日のようにカッコを付して区別した。

- 6 収録文書中右肩に付した(1)(2)(3)等の記号は、同一番号の電報が分割されて発電されたことを示す。なお、本巻への収録にあたっては、文書の区切りではなくとも分割された箇所をもって改行した。
- 7 収録文書中来信については、公信番号の下方に接受日を明記し、接受日不明のものについては当該箇所その旨を記した。
- 8 発受信者名については、初出の場合のみ姓名を表示し、以後は姓のみにとどめた。また発受信者名に付す国名・地名は、辞令に基づく在勤地とした。
- 9 編者が加えた注記は、(編注)として当該箇所に明記し、その文面は各文書の末尾に記載した。
- 10 原文書に欄外記入や付箋がある場合は、(欄外記入)(付箋)として当該箇所に明記し、その文面は各文書の末尾に記載した。
- 11 収録文書中(省略)(ママ)等のカッコを付したルビは、編者が記したものである。
- 12 押印については、公印と私印をそれぞれ(印)と(印)に区別して記した。
- 13 巻末に全収録文書の日付順索引を付した。

目次

一	日中外交関係一般	1
二	日中諸案件交渉	60
	1 一般問題	60
	2 在中国公使館昇格問題	108
	3 対中国債権整理問題	122
	4 中国関税問題	162
	5 中国排日問題	187
	6 日中航空連絡問題	220
三	華北問題	241
	1 一般問題	241
	2 塘沽停戦協定善後交渉	282
	3 華北における日本の権益発展策	330

四	中国をめぐる列国との関係	371
1	一般問題	371
2	中国建設銀公司の設立	413
3	棉麦借款問題	464
4	福建省などにおける米国策動説	498
5	英国による対中国鉄道借款問題	514
付	天羽情報部長の非公式談話問題	559
五	満州国をめぐる諸問題	613
1	一般問題	613
2	満州国における邦人への課税問題	707
3	列国の対満経済発展活動	737
六	雑件	793
1	岸本チーフ・セクレタリー復職問題	793
2	蔵本書記生失踪事件	845
3	華南方面における中国による密輸取締問題	866
4	福建新政府をめぐる諸問題	885
5	中国西南勢力との提携問題	898

日本外交文書 昭和期Ⅱ第一部第三卷
 (昭和九年対中国関係) 日付索引